

概要



H25年12月より島根県の在宅医療連携推進事業として認可されました。

【組織概要】

名称：出雲リハケアネット（H24年10月設立）
⇒H25年12月より出雲医師会の事業へ移行
代表：酒井康生（島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
事務局：出雲市民リハビリテーション病院内

目標（2本柱）

- ①急性期から在宅までのリハビリに関して顔の見える双方向の連携を作る
- ②在宅関係者が勉強会を通してリハビリ評価に慣れていく

【発足までの経緯】

- ・出雲圏域内での地域連携、リハビリ知識の普及がもっと必要では？
- ・在宅分野と急性期、回復期との実質的な関係が希薄ではないか？
- ・利用者（対象者）の現状を正しく評価し、その情報をお互いが共有できる便利なツール（評価法）があったら。
- ・障害のある方が在宅において、精神的にも機能的にも維持し、健やかな在宅生活を継続するために、病院と地域の在宅関係者との連携が必要。そのための圏域内で支えあえる環境、仕組みが必要だ。

活動紹介



研修会風景



【FIM研修会開催】H25年度は合計5回の研修会を開催（主催）しました。

基本編：H25年6月、10月の2回

実践編：H25年11月、12月の2回

4回合計：177名

参加者へ出雲圏域版FIMポケットマニュアル（試作品）を配布

【参加者の声】

- ・点数化＝共通の見解を持てるようになった。
- ・繰り返しの勉強でとてもためになる。
- ・何となく感じがつかめました。
- ・実際に採点することで良く分かった。
- ・動画みながらグループで採点、相談を行うことで深く考えることができた。
- ・今後はFIMを使用した事例検討会を開催して欲しい（連携成功事例など）。

特別講演



祝

出雲リハケアネットとして初めて100名規模の研修会を開催

- 研修会名：出雲リハケアネット第3回研修会
- テーマ：出雲圏域での共通評価ツール（FIM）の普及を目指して
- 会期：平成26年3月13日（木）19:00～20:30 ○会場：ニューウェルシティー出雲（2F牡丹）
- 参加者：95名
- ※内訳 医師：23名 看護師/保健師：13名 介護職：4名 療法士：38名 ケアマネ：8名
その他：9名（MSW、事務、栄養士、リハ学生など）
- スタッフ：13名 合計：108名

演題 『地域包括ケアが推進されるなかで～FIMで評価することの意義～』

講師：酒井 康生 氏（島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 助教）



【感想】

地域包括ケアが推進されるなかで実働的な地域連携に必要な共通の評価ツール（FIM）の紹介や活用方法を中心に講演を行い、参加者皆様は熱心に耳を傾けておられました。また、質疑応答では精神科の医師からFIMの歴史や精神科領域での活用法及び有用性について質問があり、活発な研修会となりました。研修会終盤には次年度からの活動計画である訪問セミナーの告知を行わせていただきました。

今後も研修会の企画充実を図るとともに、年度に1回程度の頻度で100名規模の研修会開催を継続していきたいと思っております。

今後の活動計画



【FIM訪問セミナー】

- ・出雲圏域版FIMポケットマニュアルを配布致します。
- ・詳細は案内チラシをご確認ください!!

- 【その他】・FIMの訪問セミナー開催・研修用動画（DVD）の作成
- ・出雲圏域リハビリテーション資源図マップの作成
- ・出雲圏域での全国規模のFIM講習会（公式）の開催誘致

※ご意見、ご質問ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

＜お問い合わせ先＞

出雲市民リハビリテーション病院内
出雲リハケアネット 事務局 三島
〒693-0033 出雲市知井宮町238
TEL 0853-21-2733 FAX 0853-24-2906
E-mail: rehacarenet-izumo@izumorih-ho.or.jp